

「観光・町おこし」分野

- 1 目的 丸亀市の町歩きを通して、丸亀城やこんぴら街道、城下町の町並みなどの観光資源の魅力に触れる。また、丸亀市内の商店街の現状を知るとともに、町の人々との交流を通して、その歴史や現在の課題を学ぶ。さらに、高校生の視点で、丸亀市の抱える課題に対する疑問を見つけ、解決の糸口を模索する。そして、丸亀の新たな魅力を発見し、地方創生のための企画・提案につなげる。
- 2 日時 平成28年6月22日(水) 13:10~15:30 [A週65分]
- 3 場所 丸亀市内
- 4 参加者 1年生「観光・町おこし」分野選択者44名(男子17名、女子27名)、教員3名
- 5 内容等

小雨の降りしきる中、生徒たちは4~7名の8つのグループごとに、元気に丸亀市内に出かけた。丸亀港の「太介灯籠」から「丸亀駅(観光案内所)」へ、そして「丸亀商店街」を歩いて「丸亀市役所」を訪れて帰るAコースと、「丸亀城」周辺を中心に「丸亀市役所」等も訪れるBコースで町歩きを行った。当日(水曜日)は、商店街の定休日と重なっているため、商店街の歴史・現状については、丸亀市役所で教えてもらえるように協力を依頼した。生徒は、実際に商店街を歩いてみることで、商店街の現状や高校生の視点で丸亀の良さに気付くことができた。また、観光客や開いていたお店の方に直接聞き取りを行うことで、商店街の歴史や現状・課題や丸亀の魅力を知ることができた。さらに、丸亀市役所や観光案内所等で、丸亀の観光資源や町おこしの取り組み等についてのお話をうかがい、丸亀の町に親しみと愛着を感じ、町おこしを自らの課題として捉えることができたようである。



6 生徒の主な感想

- ・自分が知っていたつもりでも知らないことが多くあった。 ・丸亀の町を好きになれた。
- ・実際に商店街や観光案内所の人々に意見や感想などを聞くことで、今まで知らなかった丸亀の良さや、これからの課題を見つけることができた。本当に行ってよかったと思う。
- ・市役所の方などが、丸亀の観光についてたくさん教えてくれ、丸亀の現状を知ることができ、とてもよい経験となった。 ・丸亀の街の変遷や現状、またその背景などが分かった。
- ・丸亀城に来た人に丸亀城について話を聞くことができ、よりよい意見を考えることができた。
- ・雨の中を歩くことは大変だったが、どの人に聞いても、とても面白い話を聞くことができ、よい体験となった。 ・知れば知るほど面白い丸亀の魅力が分かった。
- ・インタビューするのが難しかった。最初は上手く聞き出すことができなかった。
- ・いつも通るのとは違う道を通ることで、いくつかの新しい発見があった。
- ・街中には面白そうなものがいくつもあり、町おこしに使っていけるのではと思った。
- ・猪熊弦一郎美術館には、県外や外国からもたくさんの方が訪れていると知り、びっくりした。
- ・地域の人でも町おこしをするために努力していることが分かった。
- ・丸亀が力を入れている取り組みなどをたくさん知ることができた。知られていないので、もっと広めていけるようにしたい。
- ・新しい発見がいくつかあった。みんなに知ってもらいたいと思った。
- ・自分たちができることを見つけていきたいと思った。